

安全衛生

社員の安全と健康を、企業の社会的責任という視点で捉えて活動を推進しています。

企業評価の基準が、業績などの経済的側面のみではなく、環境的側面や社会的側面を包含し始めています。リコーグループでは、より高いレベルで社員の安全と健康を考えるという視点に立ち、労働安全衛生活動を「企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)」の重要な一部であると位置付けています。リコーは、経営理念に、「自主創造」や「会社の発展と個人の幸福の一致」を掲げ、「人間主体の経営」を推進してきましたが、この思想は、労働安全衛生の分野においても連綿と生きています。最近では「労働安全衛生マネジメントシステム」の構築を推進することにより、より高いレベルの安全確保と、健康的で明るい職場環境づくりに努力を続けてきました。

日本 極

「労働安全衛生マネジメントシステム」の認証取得

2002年3月20日、御殿場事業所がリコーグループで初めて、国際的な労働安全衛生マネジメントシステム「OHSAS18001」の認証を取得しました。労働安全衛生マネジメントシステムは、職場の危険有害要因を予防的に排除・低減し、継続的に労働災害や疾病の減少を図る新しい安全衛生の管理手法です。労働安全衛生マネ



DNV(本部ノルウェー・オスロ)の認証書

ジメントシステム構築のノウハウを習得するために、2000年8月から約1年に渡って、9事業所の安全衛生担当者による全社的なプロジェクト活動を進めてきました。今後は、沼津事業所などの日本国内の製造系事業所やリコーグループへも活動の輪を広げ、労働衛生分野にもマネジメントシステムを拡大していく予定です。



リコー御殿場事業所・安全衛生活動の推進スタッフ

社内ネットワークの活用

リコーがビジネスの強みとするデジタルネットワーク技術を最大限に活用し、安全衛生情報のデータベース化、ネットワーク化を実現しています。これにより、社員へのタ



御殿場事業所OHSMSナビ

健康管理News

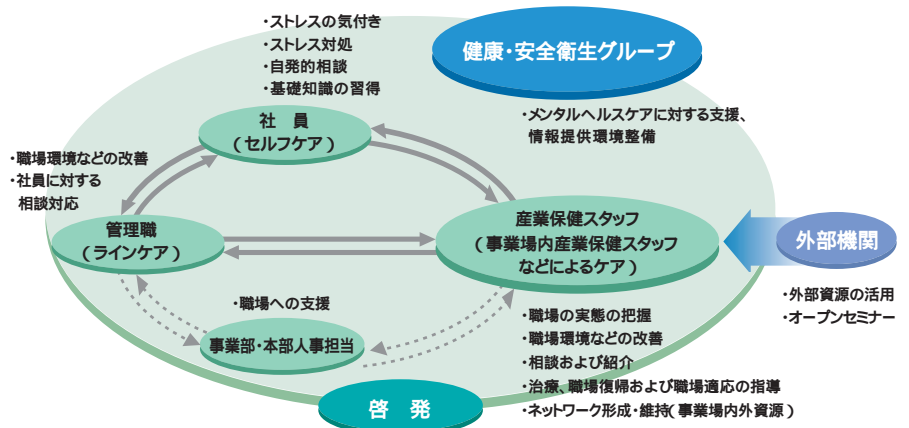
イムリーな情報の提供や各事業所でのノウハウの水平展開が容易になっています。御殿場事業所では「労働安全衛生マネジメントシステム」の認証取得に伴い、「御殿場OHSMS*ナビ」を立ち上げ、他事業所へのノウハウの水平展開を推進しています。また、社員啓発のための「健康管理News」の発行もネットワークで行い、2002年度からは関連会社社員も閲覧できるようにしました。

* OHSMS:Occupational Health & Safety Management System

メンタルヘルスケア

リコーは、心の健康づくりを安全衛生分野の今日的課題として位置付け、個人のプライバシー保護に十分な配慮を行うと共に、社員への支援を企業全体で進めていく「EAP(Employee Assistance Program:従業員支援プログラム)」の概念に基づいた体制づくりを目指しています。メンタルヘルスケア推進の主眼を「教育」に置き、産業保健スタッフ、管理職への教育を段階的に進めています。2001年度は試行的に、専門家監修の新しい教材による「新任管理職研修」を実施しました。新入社員には、「個人の気づき」を中心とした教育を実施しています。

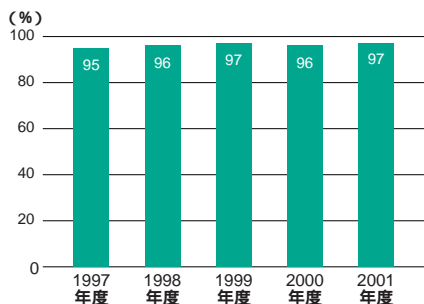
メンタルヘルスケア体制



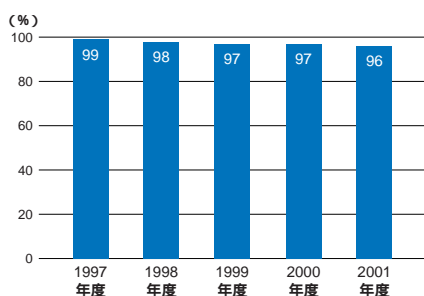
健康診断・人間ドック

リコーでは、40歳未満の社員に対して健康診断およびミニドック（35～40歳未満）を実施し、疾病の予防と早期発見を目指しています。また、社員の高齢化に伴う健康管理施策として、40歳以上の社員に対しては人間ドックの診断を義務付けています。健康診断や人間ドックの有所見者に対する再検査・精密検査・経過観察・治療などのフォローアップ体制も確立し、疾病の予防・発見・早期対策について努力を続けています。健康管理への配慮は、社員だけでなく、その家族にも及び、配偶者を対象にした人間ドックも実施しています。

健康診断受診率



人間ドック受診率

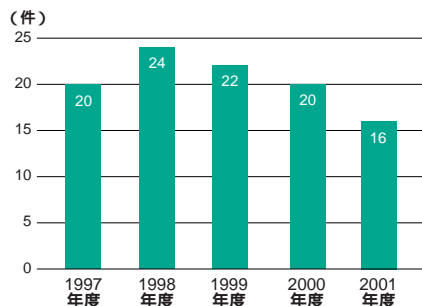


安全活動

リコーは、労働災害低減のために、製造系事業所を中心に、社員の自主的意思による現場密着型の安全活動を展開しています。具体的にはヒヤリハット*活動を通じて災害事故防止策の検討、災害事故発生時の徹底した再発防止策の検討と事業所内への水平展開、新入社員の導入安全教育、安全意識高揚のための啓発活動などがあげられます。また、産業医による職場巡回も行っています。

* 事故には至らなかったもののヒヤリとした、ハットしたことの原因を追求し、事故を未然に防ぐ活動。

労働災害件数



主な無災害記録

- ・第五種無災害記録[2,380万時間]
厚木事業所(1999年5月)
- ・第四種無災害記録[1,590万時間]
厚木事業所(1996年4月)
- ・第四種無災害記録[1,590万時間]
大森事業所(1991年8月)
- ・第一種無災害記録[460万時間]
沼津事業所(2001年3月・記録更新中)

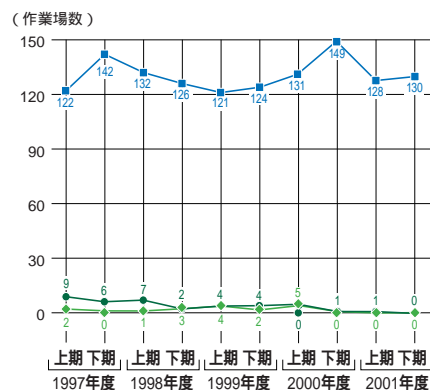


リコー沼津事業所に交付された無災害記録証

作業環境測定

リコーグループは、業務による健康障害防止のために、作業環境測定を継続的に実施しています。法的に定められた物質の測定だけでなく、対象外の物質であっても、健康影響に配慮する必要がある場合には、測定を行い、作業環境改善に努めています。

作業環境測定(リコーおよび日本国内のリコー関連会社)



■ 第1管理区分

作業場のほとんど(95%)の場所で気中有害物質濃度が管理濃度を超えない状態

● 第2管理区分

作業場の気中有害物質の濃度の平均が管理濃度を超えない状態

◆ 第3管理区分

作業場の気中有害物質の濃度の平均が管理濃度を超える状態